

令和 7 年度  
公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会  
臨 時 会 員 総 会 議 案 書

目 次

総会開催通知	1
総会次第	2
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和 8 年度事業計画案	3
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和 8 年度収支予算案	5



公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

令和8年2月1日

会員各位

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会  
会長 松岡 優  
(公印省略)

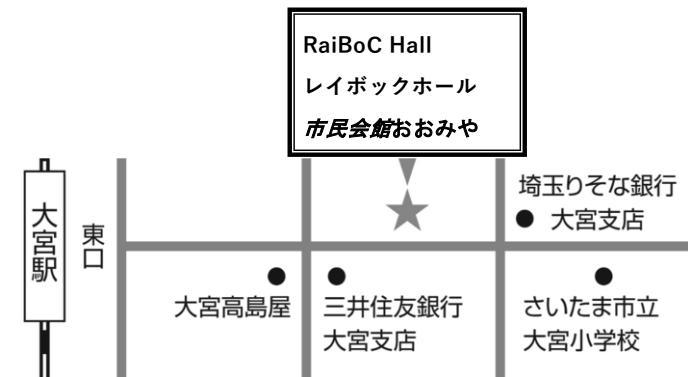
## 令和7年度 臨時会員総会 開催通知

定款第14条の規定により下記のとおり令和7年度 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会  
臨時会員総会を開催しますので会員各位の出席を要請します。

記

日 時 令和8年3月6日 (金曜日) 午後6時30分から

場 所 RaiBoC Hall (市民会館おおみや) 小ホール (7F)  
さいたま市大宮区大門町2丁目 118



## 令和7年度 臨時会員総会 次第

一、 開会の辞

一、 会長挨拶

一、 各種表彰

一、 議長選出

一、 議長挨拶

一、 総会役員選出

(1) 資格審査委員、議事運営委員任命

(2) 書記任命

(3) 議事録署名人任命

一、 議案審議

(1) 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和8年度事業計画案

(2) 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和8年度収支予算案

一、 総会役員および書記解任

一、 議長挨拶

一、 閉会の辞

# 第一号議案 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和8年度事業計画案

公益社団法人埼玉県臨床検査技師会は、職能団体としての誇りを高く掲げ、県民の医療、健康増進の向上、公衆衛生の普及にこれまで以上に積極的に取り組んでいく所存である。今後も厳しい医療環境が予測されているが、会員や賛助会員にご支援、ご協力を賜り、無理のない計画を最小の予算で最大の効果が得られるような技師会活動の運営に努める所存である。

ここに、令和8年度の事業計画を提案する。

## 《事務局関係》

### 1 会員総会

会員総会は、本会の事業内容の決定、ひいては本会の将来をも決定する重要な会議であり、会員に事業内容を理解していただく数少ない機会である。そのために交通事情や時間を考慮した会員が出席しやすい総会を計画し、多くの会員が参加できるよう努めたい。また、下記の日程で開催を予定する。

- (1) 定時会員総会：令和8年6月12日（金）に開催し、令和7年度の事業報告・決算報告を行う。
- (2) 臨時会員総会：令和9年3月に開催し、令和9年度の事業計画・予算審議を行う。

### 2 会務体制

基本的には令和7年度の事業を踏襲し、また、各種の委員会を通じて会員の意見が反映できるような会務を行う所存である。

事務所にはコンピューターをはじめ事務機器が整備されており、各部署に効果的に利用してもらうと共に、会員の要望に応えるべくさらに充実させたい。また、理事・研究班員・各委員の任期歴や永年会員表彰に関する事項を把握し、会員情報を正確に処理するよう努めたい。さらに、令和8年度も会務の内容、各委員会の委嘱、公益事業および機関紙の発送について万全を期したい。

事務局の業務量も増加しているが事務職員との協力で会務が滞ることなく迅速に処理し、会員の要望に応えたい。

### 3 諸会議

(1) 理事会および常務理事会：理事会は定期開催とし、常務理事会は必要に応じて開催する。効率化の面から会議数の削減を図り、Eメールおよびオンライン会議を活用し、諸問題に迅速な判断が下せる会議としたい。

- (2) 委員会：必要に応じて開催し、各問題について専門的に検討し対応したい。

### 4 表彰および表彰者推薦

永年会員表彰をはじめ埼臨技の活動に貢献した会員については、会員表彰規程に基づき各種表彰、推薦をする。公的な表彰について該当者を把握し、積極的に推薦したい。

### 5 固定資産、備品の整備について

必要に応じた設備機器を適時に更新または補充して、会員の便宜を図れるように、安心して使用できるように充実させて、維持管理したい。

## 《組織対策および会員相互の親睦交流会の開催》

### 1 入会対策

新入会員向け研修会をはじめ、生涯教育研修会・講演会や精度管理事業においても入会を勧めているが、さらに広報活動を通じて入会案内を行いたい。

また、当会と埼玉県内の臨床検査技師養成校との連絡を密にするために臨床検査技師養成校連絡協議会を通じ入会対策を促進し、卒業後の学生が入会を希望できるようしていきたい。

### 2 人材登録制度の推進

会員相互の求人・求職の紹介を継続し、日臨技と連携を図り、会員のニーズに応えたい。

### 3 親睦交流会の開催

各種感染症の流行状況を注視しつつ会員、賛助会員の交流と情報交換のため賀詞交歓会などを計画する。ワークライフバランス推進委員会、青年部委員会を通じ、会員相互の交流の場となる研修プログラムを企画したい。

## 《公益目的事業について》

### 1 衛生思想の普及および啓発に関する事業

#### (1) 生活習慣病対策などの啓発活動

(2) 臨床検査に関する相談コーナーの開設：日臨技委託公益事業である全国「検査と健康展」の開催時に開設し、県民の医療、健康増進の向上を図りたい。

### 2 地方公共団体などが主催する地域保健事業の推進に関する事業

健康まつり、糖尿病予防週間などについては各種感染症の流行状況を鑑み参加を決定する。

### 3 臨床衛生検査に関する調査、研究開発および情報の提供に関する事業

(1) 精度管理事業：埼玉県医師会より受託して行う本事業は、来年度で38年目を迎える。精度管理委員会、各研究班の37年間のデータをもとに分析された各種の問題点は研究班活動などを通じて積極的に解決していきたい。また、県民の医療を担う基本的立場にたって、本事業に参加していない県内医療機関に対して参加を呼びかけ、精度の向上および施設間差是正と標準化の普及を推進する。

(2) 情報発信ツールの充実：埼臨技ホームページをリニューアルし、令和8年度も各種事業の報告について掲載し、速報性を重視し充実させたい。また、情報公開法に基づき、事業・財務などに関する資料も掲載できるよう整備したい。

(3) 埼臨技精度保証施設認証事業：日臨技精度保証施設認証制度について、県内施設に啓発を行い、多くの施設の認証が受理されるよう努力したい。

### 4 臨床検査技師および衛生検査技師の教育その他資質の向上に関する事業

(1) 生涯教育研修事業：埼臨技の学術活動の中核をなす部門別検査研究班は、11の研究班により研修会、講習会の企画運営および調査研究を実施したい。多くの会員が参加しやすく、生涯教育制度の履修を考慮した内容で企画するよう努力し、技術の進歩に対応できる学術活動を目指したい。各種感染症の流行状況を鑑み、令和2年度途中より開始したオンライン研修会も選択肢として維持していくつつ、現地集合型開催も積極的に行うよう調整していきたい。また、研究班運営委員会などで運営面の要望や問題点を取り上げ、研究班の統合も必要に応じて視野に入れ検討していきたい。

(2) 講演会：検査、医療をとりまく諸問題に関する講演会、研修会を実施したい。

(3) 検査室管理運営研修会：検査室運営に関わる諸問題の把握や情報交換を目的に全会員を対象とした研修会や講演会を実施したい。

### 5 機関誌の発行

埼臨技会誌を年3回 Vol. 73 No. 1（通巻207号）からNo. 3（通巻209号）の発行を実施したい。

### 6 埼玉県医学検査学会

埼玉県医学検査学会は、日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会（第62回）の担当が埼玉県のため開催されない。その代わり支部学会では臨床検査技術の向上を目指し講演会や研究発表を中心に学術的な意見交換の場として充実した学会を開催する。会員一丸となり学会の成功に向け努力したい。

会期 令和8年11月22日（日）・23日（月）

会場 ソニックスティ

学会長 松岡 優（埼玉医科大学病院）

### 7 日本臨床衛生検査技師会から委託される公益事業および関連事業

全国「検査と健康展」の地方会場（予定）、支部研修会の開催、検査データ標準化事業などの実施を積極的に行う。

## 《収益事業などについて》

### 1 埼臨技だよりを、毎月15日、563号から574号を発行する。

### 2 生涯教育研修プログラムを、2ヶ月単位で年6回の発行を行う。

### 3 会員名簿 事務局にて会員名簿を管理する。

## 《その他》

大規模災害対策の一環として、埼玉県との災害協定締結に向けた調整、技師会公式LINEを用いた訓練を実施する予定である。

2026年4月1日から2027年3月31日まで

第二号議案 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和8年度収支予算案(表)

科 目	公益目的事業会計							収益事業等会計			法人会計	合計(X)
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	公 7	共通	小計	収 1	他 1	
<b>I 一般正味財産増減の部</b>												
<b>1. 経常増減の部</b>												
<b>(1) 経常収益</b>												
<b>受取入会金</b>												
<b>入会金</b>												
<b>受取会員費</b>	1,000,000	210,000	0	820,000	2,100,000	3,000,000	0	5,290,000	12,420,000	187,500	2,500	25,000
<b>正会員費</b>	1,000,000	210,000		820,000	2,100,000	3,000,000	0	4,270,000	11,400,000	187,500	2,500	27,500
<b>賛助会員費</b>												
<b>事業収益</b>	0	0	0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	300,000	0	300,000
<b>広告収入</b>										0	0	0
<b>研修会収入</b>	0			2,000,000		0	0		2,000,000		0	2,000,000
<b>特許権等の譲渡収入</b>										0	0	
<b>愛取補助金等</b>												
<b>受託事業収入</b>												
<b>雑収益</b>	0	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
<b>受取利息、</b>												
<b>雜収入</b>												
<b>経常収益計</b>	1,000,000	210,000	1,300,000	3,520,000	2,100,000	3,000,000	500,000	6,482,500	18,112,500	316,100	2,161,000	2,477,100
<b>(2) 経常費用</b>												
<b>事業費</b>	1,010,000	222,000	1,316,000	3,531,000	2,116,000	3,010,000	511,000	6,495,939	18,211,939	81,413	2,065,125	2,146,538
<b>役員報酬</b>											0	0
<b>給料手当</b>											0	1,260,000
<b>退職給付金</b>											0	3,053,000
<b>法定福利費</b>												20,358,477
<b>会議費</b>	160,000	35,000	430,000	580,000	5,000	900,000	20,000	2,130,000	2,130,000	0	0	2,130,000
<b>旅費交通費</b>	130,000	30,000	290,000	480,000	5,000	400,000	42,000	1,377,000	1,377,000	0	0	1,377,000
<b>運営費</b>	220,000	90,000	460,000	840,000	50,000	200,000	180,000	2,040,000	2,040,000	70,000	70,000	211,000
<b>通信運搬費</b>	5,000	10,000	50,000	20,000	450,000	200,000	5,000	740,000	740,000	100,000	100,000	840,000
<b>減価償却費</b>								527,064	527,064	7,028	7,028	77,303
<b>消耗什器備品費</b>								1,725,000	1,725,000	23,000	23,000	253,000
<b>消耗品費</b>	1,000	1,000	5,000	10,000	0	55,000	3,000	75,000	75,000	80,000	80,000	155,000
<b>印刷製本費</b>	3,000	5,000	20,000	20,000	1,600,000	1,000,000	20,000	2,668,000	2,668,000	1,000,000	1,000,000	3,668,000
<b>光熱水料費</b>										2,165,000	2,165,000	2,189,200
<b>置造料</b>	410,000	50,000		750,000				90,000	90,000	1,200	1,200	103,200
<b>保険料</b>										101,500	101,500	264,450
<b>諸謝金</b>	80,000			60,000	830,000	5,000	0	40,000	40,000	230,625	230,625	338,25
<b>租税公課</b>										61,000	61,000	62,000
<b>雜費</b>	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	55,000	1,000			1,000	1,000	1,000

科 目	公益目的事業会計							収益事業等会計			法人会計	合計	
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	公 7	共 通	小計	収 1	他 1		
管理費												6,276,523	6,276,523
役員報酬												0	0
給料手当												497,000	497,000
退職給付金												30,240	30,240
法定福利費												54,600	54,600
会議費												670,000	670,000
旅費交通費												540,000	540,000
運賃費												1,708,000	1,708,000
通信運輸費												900,000	900,000
減価償却費												98,385	98,385
消耗什器備品費												322,000	322,000
消耗品費												155,000	155,000
印刷製本費												400,000	400,000
光熱水料費												46,900	46,900
賃借料												230,800	230,800
保険料												16,800	16,800
諸謝金												0	0
委託費												554,400	554,400
租税公課												43,050	43,050
雜費												9,348	9,348
経常費用計	1,010,000	222,000	1,316,000	3,531,000	2,116,000	3,010,000	511,000	6,495,939	18,211,939	81,413	2,065,125	21,465,538	26,635,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,000	△ 12,000	△ 16,000	△ 11,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 11,000	△ 13,439	△ 99,439	234,687	95,875	330,562	888,877
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,000	△ 12,000	△ 16,000	△ 11,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 11,000	△ 13,439	△ 99,439	234,687	95,875	330,562	888,877
2 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
(該当なし)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,000	△ 12,000	△ 16,000	△ 11,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 11,000	△ 13,439	△ 99,439	234,687	95,875	330,562	888,877
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,971,427
一般正味財産期末残高	△ 10,000	△ 12,000	△ 16,000	△ 11,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 11,000	△ 13,439	△ 99,439	234,687	95,875	330,562	888,877
II 指定正味財産増減の部													
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 10,000	△ 12,000	△ 16,000	△ 11,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 11,000	△ 13,439	△ 99,439	234,687	95,875	330,562	888,877

## 第二号議案 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和8年度収支予算案

### <予算編成にあたって>

公益7事業（衛生思想の普及と啓発、地域保健事業、検査の調査研究及び情報提供、倫理の高揚と資質の向上、埼臨技会誌発行、埼臨技学会、日臨技から委託される公益事業）および収益など2事業（調査研究成果に対する使用料の徴収、埼臨技だより発行）ならびに法人管理費について予算を配分した。近年の世界情勢の影響により物価高騰が支出に影響を及ぼすため、令和7年度に引き続き組織運営を考慮したうえで予算作成にあたった。これらにより事業比率は公益事業68.3%、収益など事業8.1%、管理費23.6%となる。以下、予算編成の要点を示し、令和8年度予算として提案する。また、外部環境の影響は年々大きくなり、将来的に安定した法人運営を行うために会費の変更について検討していきたい。

### <収入>

当会の主な財源である正会員費については、会員数が着実に増加しており3,700名と想定し1,850万円を計上した。賛助会員費は、令和7年度の実績から68社を想定し136万円を計上した。来年度、日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会（第62回）が開催されるため、広告収入は計上していない。

受託事業収入は、受取補助金として全国「検査と健康展」（地方会場）、生涯教育推進研修会、埼玉県医師会精度管理事業などの受託による405万円を計上した。

事業収益の研修会収入は、研究班事業の拡充や近年の物価高の影響から、令和5年度より会場整理費を再開している。研修会は実地開催とWeb研修会を併用して開催する。また、実技研修会の開催も継続しており200万円を計上した。雑収益として賀詞交歓会の参加費収入を計上し、収益合計は2,774万円とした。

### <支出>

令和7年度の決算見込みを鑑み、令和8年度の事業計画に沿って予算配分を行った。

技師会ホームページリニューアルに伴い、保守管理費用など41万円を計上した。

日臨技との共同事業および関連事業である全国「検査と健康展」（地方会場）は、来年度も埼玉県と連携し開催する。令和8年度は日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会（第62回）を埼玉県で開催する。そのため埼玉県医学検査学会は令和9年度に第54回埼玉県医学検査学会を開催するため、準備に必要な予算措置を行った。令和7年度同様、令和9年度の埼玉県医学検査学会は実地開催で予算措置を行い、301万円を計上した。研究班事業、管理運営で使用しているPCを更新するため、消耗什器備品費として230万円を計上した。

法人会計は会員数の増加、管理運営の業務量が増えているが、負担を軽減し効率よく事務作業を行う。

賀詞交歓会は継続して経費として計上した。

埼臨技事務所の次期修繕、建替え、新規取得に対応するための準備金として毎年100万円を積立している。この積立は令和8年度で9回目となる。また、周年事業の準備金として毎年10万円を積立している。この積立は令和8年度で2回目となる。

これらにより公益目的事業費が1,821万円、収益事業費は214万円となった。各事業費率は、公益事業費中の、衛生思想の普及と啓発3.8%、地域保健事業0.8%、検査の調査研究及び情報提供4.9%、倫理の高揚と資質の向上13.3%、会誌発行7.9%、埼臨技学会11.3%、日臨技から依頼される公益事業1.9%、公益共通24.4%、計68.3%、収益など事業中の、調査研究成果に対する使用料の徴収0.3%、埼臨技だより発行7.8%、計8.1%、法人管理費が23.6%となる。

### 令和8年度 投資活動支出

(単位:円)

科目	年度		摘要
	令和8年度期末見込		
事務所新規取得（建替）積立金取得支出	4,500,000		事務所新規取得（建替）積立金
大規模修繕積立金取得支出	4,500,000		大規模修繕積立金
周年事業積立金取得支出	200,000		周年事業積立金

### 埼臨技事務所修繕・改修、新規取得（建替）資金の積立について（令和元年より）

	上限金額	年間積立金額	備考	期間
1. 修繕・改修	500万円	50万円		10年間
2. 新規取得	2,000万円	50万円	11年目以降100万円/年	25年間

### 埼臨技周年事業資金の積立について（令和7年より）

	上限金額	年間積立金額	備考	期間
1. 周年事業	100万円	10万円		10年間